

はなはな便り

No.20 2020.2月発行 編集者:荒武
特定非営利活動法人Ryouiku Circle はなはな

つぼみ

令和元年10月に重たい障がいを持つ子供達の発達支援を目的として始まった「つぼみ」の活動を紹介します。「つぼみ」では「社会活動」への参加、その支援、そしてそれらを子ども達、保護者、スタッフが認知(実感)できることを目標にしています。

令和元年10月から12月までの3ヶ月間は「クリスマスとお正月を楽しもう!」をテーマに活動しました。クリスマスパーティーの準備、お正月体験等を12回程度のセッションに分けてプログラムを作成し実践しました。制作活動、体験活動の中でビッグマックなどのコミュニケーション機器を使って友達を活動に誘ったり、必要な道具を借りに行ったり、パーティーに招待する社会活動に参加しました。どのくらい能動的な参加、支援、認知(実感)ができたかは毎回活動をビデオ撮影し確認します。はじめはなかなか参加を認知(実感)しづらかった子ども達も、繰り返し参加することで次第に参加を認知(実感)できるようになり、満足そうな笑顔を見せてくれるが増えていきます。

次の活動テーマは「はなはな美術展」です。1月から3月までの3ヶ月間で、「電車が走る箱庭」を制作します。完成した作品は展示する予定です。

鳥居をくぐり、お賽銭をいれる活動です。



ホームページ リニューアル中!!
<http://hanahana.offmaehara.com/>
たくさんアクセスして下さい。

令和元年度の予定

保護者向け学習会

3月27日(金) 場所:きりしま総合発達支援センター



スタッフ会議

2月1日、Ryouiku Circle はなはなスタッフ会議が行われました。本年度の活動や実績について、来年度以降の方針について、スタッフ全員でほぼ1日を使って話し合いました。

来年度以降の計画は、短期(2020年度)、中期(2022年度まで)、長期(2025年度まで)、それ以降の事業計画、法人としての計画などを全体で考えました。長期計画の中で挙げられているように、「実樹」を「きりしま総合発達支援センター」に統合し、本人と家族、地域を未来に繋げるために専門的な支援ができるようになるには、何をすべきか、意識する1日となりました。



避難訓練

安全委員会では毎月避難訓練を計画し実施しています。月により火災、地震、水害、不審者対応などと設定を変えて行っています。ちなみに3月は人工心肺蘇生、AEDの訓練を予定しています。

また、事業所内のヒヤリハットの集計結果や、インシデントの報告などを職員で共有し、ホームページにも載せて事故防止に努めています。

1月10日、避難訓練(火災)の様子
きりしま総合発達支援センター



「かせだうち」

「かせだうち」は「稼いだ家」という意味です。霧島市福山町に伝わる行事で、新築したり、お祝い事があった家庭を、ユニークな姿の7人の神様が訪問して祝ってくださいます。

2019年4月に開所した「きりしま総合発達支援センター」にも、神様がお祝いに来てくださいました。令和2年1月11日、にぎやかなお囃子で踊りながら、建物内を巡った神様を大部屋にお通し、美しい女性の姿に変身した男性スタッフが心を込めておもてなしました。



2020 TOKYO オリンピック

聖火ランナーの霧島市代表として、はなはなを利用している、三浦智也くん(高校3年生)が選出されました。

その時、彼の心に浮かんだ言葉は「感謝」。これまで支えてくれた家族や周りの人たちに、彼が伝えたい気持ちです。

電動車椅子で200mを走る予定です。4月28日、当日は雨天決行、体力を維持して万全の体調で臨めるよう、そして完走できるよう、はなはな全体で応援します。

